

後期臨床研修プログラム

和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座（救急集中治療部/高度救命救急センター）

1. 研修概要

当センターは、ドクターヘリコプター活用と和歌山県内各病院との連携により、高度な救急医療・集中治療と同時に、内科/外科や急性期/慢性期などの別にとらわれない幅広い地域医療を提供できるよう努めています。あらゆる重症度・病期・専門領域の重複病態を管理する必要があるため、医師基本技能である救急処置・迅速判断のトレーニングに加え、サブスペシャリティとして外科・放射線科などの様々な専門技能習得を目指します。

しばしば救急医は専門領域ではないといわれますが、他院・他診療科のあらゆる病態の重症転化時に Consult をうける「集中治療」スキルを軸足におく(当センターICUで様々な集中治療管理の修練をうける)ことで、救急/集中治療医としての専門性を確立しています。この土台となる幅広い救急・集中治療スキルの上に、各自希望の専門領域スキル習得でさらなるボトムアップが可能です。将来明確に救急医/集中治療医を目指していなくとも、医師としての基本技能修練のための短期研修(半年～数年程度)も受け入れています。

2. 研修の実際

例として当センターの卒後 10 年目スタッフ(3 年目入局の場合)の実際の研修過程を示します。



➤ 卒後 3～6 年目

● 集中治療 (ICU)

当救命救急センター研修の核となる ICU の特徴として、

- ① 県内救命救急センターが 3 施設のためのため超重症救急症例が集積される
- ② 心臓血管外科などの定期手術直後の集中治療管理にほぼ毎日従事する
- ③ 内科/外科系 (小児科含む) 全院内他科の急変・重症化症例を集中治療管理する

といったものが挙げられます。救急外来から収容される救急主科重症例のみを ICU 管理するわけではないため、経験する症例数・重症度の面で、他の一般的な救命救急センターに比べ格段に速い ICU スキルのレベルアップが得られます。

我々がこの集中治療管理スキルを軸足におく理由は、ICU 以外の病棟や救急外来での急変/緊急時対応への応用、さらには急変「前」に 2 歩・3 歩先を素早く予想して軽症/中等症患者さんの重症化を予防するためです。決して ICU 病棟内のみでハイエンドな集中治療管理を行うための特殊技能ではないのです。これは将来、専門的な内科医・外科医や ER 医を目指すとしても根本的に不可欠な診療スキルと考えます。救急初初期診療・各サブスペシャリティなど全ての基本となるため、後期臨床研修の初期に経験するよう推奨しています。

● 救急初期診療 (ER)

当院では、他診療科も含め卒後 3 年目に 3 ヶ月単位で救急外来初期診療への従事義務があります。他診療科入局者とともに、救急隊や他院からの収容・転送要請対応から、初期病態診断・帰宅是非判断まで ER 医として 1 次～3 次全ての救急医療に携わります。当院で初期臨床研修をうけていなくとも同学年の他科医師との横の繋がりができ、入局後のためお互いの各専門科技能・知識を共有し、知見の幅を広げることが可能です。

指導体制としては、救急集中治療部スタッフ→後期臨床研修医 (卒後 3 年目) → 初期臨床研修医 (卒後 1・2 年目) といった屋根瓦形式が構築されており、大学病院の特性を生かし病態に応じて他専門各科 Consult も随時可能です。

● 救急地域医療 (HCU)

HCU 病棟では、中等症の緊急入院患者さんや、ICU で病状改善傾向となった元重症患者さんの病棟管理にあたります。ICU より重症度が低いとはいえ、他院や院内単一科で対応困難なあらゆる重複病態であることがほとんどであるため、HCU 専従の内科指導医 (院内内科より応援) を中心に、外科系指導医・救急集中治療医を含めた全員で、初期臨床研修医の先生と一緒に入院管理します。急性期管理のみではなく、亜急性期から必要あれば慢性期まで管理するため、ICU での重症患者管理のみでは学べない、患者さん本人やご家族との対話を元にした診療、病状再増悪防止のための細やかな内科的管理、県内各病院へ転院調整するための地域医療などが経験できます。

- Off the Job Training: OffJT

ベッドサイド以外でのスキルアップのため、また全国で一般化された「BLS/ACLS」「JATEC」「JPTEC」「ISLS」「FCCS」などの基本的な標準化診療コースを受講します。入局者は「BLS/ACLS」「JATEC」コース受講料の補助が受けられます。
- ドクターヘリ

病院収容後の研修だけでなく、ドクターヘリ搭乗を通して傷病現場における病院前救護研修(有事の災害医療にも通ずる)も可能です。ドクターヘリ研修は上記「集中治療」「救急初療」「地域医療」「OffJT」各研修で培われた全ての診療技術をベースに、指導医と共に搭乗する実地研修(On the Job Training)を経てフライトドクターを目指します。
- サブスペシャリティ

上記のようなベースとなる救急/集中治療スキルを土台に、自分が興味のある専門技能を修練することにより、さらに全体的なレベルアップが図れます。既に外科専門医・放射線科診断専門医などのサブスペシャリティ専門医を取得している当センター所属の救急科専門医が後期臨床研修開始時より指導にあたり、その後、主に他施設での専門科従事研修により外科・放射線科・麻酔科・感染症科など様々な専門科スキル習得を目指します。

➤ 卒後 7～10 年目

- 専門医認定取得

当センターは、救急科専門医指定施設・指導医指定施設(日本救急医学会)、集中治療専門医研修施設(日本集中治療医学会)、外傷専門医研修施設(日本外傷学会)、ドクターヘリ指導者認定指定施設(日本航空医療学会)であり、各専門医認定を取得します。希望に応じ各サブスペシャリティ領域の専門医取得も可能です。
- 研究活動・学位取得

学会発表・論文執筆については卒後 3 年目から指導医とともに継続的に行っていきます。研究活動は臨床と相補的に連動し良いフィードバックとなるため、学位取得に関する研究にも従事します。希望に応じて大学院進学も可能です。

➤ 卒後 11 年目以降

10 年目までのバックグラウンドを元に、救急初療・集中治療・災害医療など、各領域の研鑽をさらに深めていきます。

*詳しくは、医局ホームページ「研修案内」もご参照下さい

→ <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/eccm/training/>